

げばしゅうへんいせき

下馬周辺遺跡

(鎌倉市No.200 遺跡)

調査期間 20100617～20110630

所在地 鎌倉市由比ガ浜二丁目

時代 中世～近世



作成日:20120514

概要

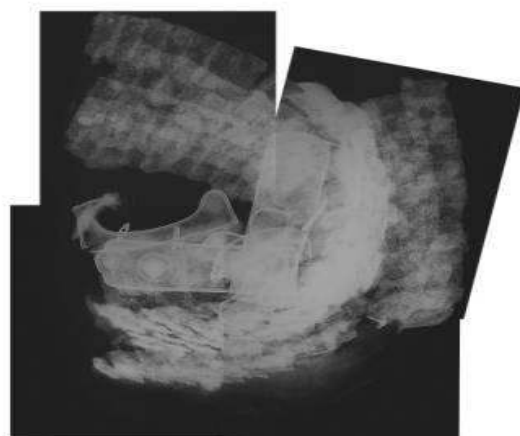
下馬周辺遺跡の調査は、新しい鎌倉警察署建設に伴う事前の発掘調査として実施されました。遺跡は現在の鎌倉駅から若宮大路を約700m南に向かった東面に位置します。約50m南には一ノ鳥居があり、約200m北には「下馬」の交差点と碑が位置します。

「下馬」は鶴岡八幡宮や鎌倉幕府に向かう者が、馬から降りた場所として伝えられています。一帯は、約800m南の海岸線から続いている由比ヶ浜の砂丘帯の北東側で、砂地に遺構が築かれています。調査では中～近世の遺構・遺物が発見されています。

中世面では竪穴遺構(竪穴建物・方形竪穴建築址)と呼ばれる半地下式の建物跡が70軒程発見されており、第28号竪穴遺構の床面に掘られた円形土坑からは鎧(よろい)が出土しました。現在鎧は専門機関による仮処理・分析を実施しています。その他に遺跡からは刀や鑿(たがね)などの金属製品、土器類などがコンテナ箱に400箱以上出土しています。



▲ 鎧出土状況



▲ 鎧X線合成写真 下面から